

平成 29 年度
予算編成に対する要望書

公明党議員会

宇都宮市長

佐藤 栄 一 殿

宇都宮市議会

公明党議員会

平成 28 年 10 月 27 日

我が国の社会経済情勢は、国において、様々な金融・経済政策や成長戦略が打ち出され、株価の上昇など景気回復の兆しが見えてきたところではありますが、中国、ロシア経済の下振れなど世界経済の不透明感が高まっております。また地方においては、依然として経済成長の停滞が続いているなど、まだまだ景気回復の実感が得られていないのが現状であります。

さらに、少子・超高齢社会の進行による人口減少、社会保障費の増加、地球環境問題など大きな課題が山積しております。

このような中、本市が将来にわたり持続的に発展していくためには、「宇都宮市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、ネットワーク型コンパクトシティの形成などの各種施策を着実に推進し、多様化する市民ニーズに的確に対応するとともに、本市の行財政運営にあたっては、徹底したムダの削減と自主財源の確保、選択と集中による効果的な予算配分が求められております。

これらのことをふまえ、平成 29 年度の予算編成にあたっては、50 万市民の希求する生活者重視の施策を実行し、魅力あふれる都市・宇都宮を構築するため、以下の事項について要望するものであります。

重点要望事項

1. ネットワーク型コンパクトシティの推進

人口減少、少子・超高齢社会を迎えるに当たり、本市が持続可能な発展をするためには「ネットワーク型コンパクトシティ」の形成が必要であり、地域の特性に応じた特徴ある都市機能や施設を配置した拠点の形成と、各拠点へアクセスできる移動環境（交通ネットワーク）を提供することが重要である。

本市は、東西方向に弱点のある公共交通の基軸として新たにLRTを敷設し、各拠点を結ぶ路線バスの再編、地域を面的にカバーする地域内交通の整備で、高齢者や交通弱者に優しいまちづくりが喫緊の課題である。

- (1) LRTを基軸とする公共交通の整備推進
 - JR宇都宮駅東側区間のLRTの着実な推進
 - JR宇都宮駅西側区間のLRTの延伸計画の確立
 - 多様な媒体を活用した広報活動で市民理解の促進
- (2) 公共交通の充実で自動車に過度に依存しない社会の実現
 - 路線バス・地域内交通の強化・再編で公共交通空白地域の解消
 - 交通結節点の整備促進で階層性に優れた交通網の確立
- (3) コンパクトな地域拠点の形成で、ハード・ソフト両面を充実
 - 個性豊かな各種拠点の形成
 - 密度の高い居住地域の住環境（充実した訪問医療・介護体制）の形成
- (4) 都市拠点の機能を充実し、魅力ある都市の形成
 - JR宇都宮駅東口・西口周辺の整備、再開発を推進

2. 地方経済の活性化

地域経済の発展のためには、産業・経済の環境変化に的確に対応しながら、地域産業の創造性・持続性を高めるとともに、新たな雇用の確保と安定化を図る必要がある。また魅力ある農業を推進する政策や観光交流の一層の促進を図ることが大切である。

- (1) 新たな企業誘致と雇用の促進
 - 産学官連携による新産業の誘致と起業支援の強化
 - 地域産業・地元中小企業の活力向上と人材の育成支援
 - 県「とちぎジョブモール」と連携した効果的な就労支援

- (2) 宇都宮市中央卸売市場の活性化推進
 - 食の安心・安全のためのインフラ整備(コールドチェーン化・屋根付き荷捌所など)
 - 市民が親しみやすい関連施設のリニューアルと特色あるイベント開催の促進
 - 若者雇用促進と効率的な運営のための市場休日見直し

- (3) 魅力ある農業と観光交流の促進
 - 農商工連携による6次産業の振興
 - 農畜産物のブランド化と国内外への販路拡大
 - 大谷地域の観光・産業振興と情報発信の強化
 - 自転車のまち宇都宮の推進と市内サイクルロードの整備促進

- (4) 本市独自のプレミアム付商品券による経済の活性化
 - 応募・購入方法の改善と利便性の向上
 - 加盟店の換金手続き等、運用上の改善

3. 健康づくりの推進

生涯にわたり健康的で長く楽しく暮らすためには、日常生活の中で手軽にスポーツにふれあう環境を作りだし、健康寿命と自立生活力の向上を図る必要がある。

超高齢社会に対応した地域の健康づくりとして、保健医療サービスの高度化を図り、生活弱者にも優しい健康長寿を支える体制の整備が求められる。

- (1) 地域包括ケアシステムの構築
 - 地域包括支援センターの機能強化及び関係機関との連携強化
 - 認知症見守りシステムの拡充と認知症カフェの推進
 - 障がい者・難病患者の相談窓口の充実及び支援体制の強化

- (2) がん対策の強化
 - 未受診者への個別受診勧奨・再勧奨（コール・リコール）の強化
 - がん教育の推進

- (3) 健康寿命延伸のための環境整備
 - 地域スポーツクラブの支援拡充と高齢者向けスポーツ活動の推進
 - 高齢者向けスポーツ広場の整備推進
 - 高齢者等地域活動支援ポイント事業の拡充

4. 子ども・子育て支援事業と若者・女性支援の拡充

近年、子どもの貧困や虐待問題など、子どもを取り巻く環境は厳しさを増している。人口減少時代に突入した今日、安心して子育てできる環境づくりが、喫緊の課題である。

妊娠期から子育て期まで、切れ目のない支援策で、出生率の増加や児童虐待の防止・減少に確実につなげることが大切である。

また、一億総活躍社会の構築を目指し、特に若者や女性の活躍のための働く環境づくりの整備促進が求められる。

- (1) 妊娠・出産から育児までの切れ目のない支援を拡充
 - 産後うつ早期ケアの推進
 - 病児・病後児保育の支援拡充

- (2) 待機児童解消の推進
 - 保育施設の拡充
 - 保育士の待遇改善による人材確保

- (3) 生活困窮世帯への学習支援拡充とひとり親家庭の生活・就労支援強化

- (4) 若者・女性支援の拡充
 - 若者雇用・女性再就職マッチング事業の拡充
 - 若者の正社員化を促進する支援の拡大
 - U I J ターン促進のため全国へ情報発信の強化
 - 婚活事業の支援強化

5. 地球温暖化対策の推進

環境省は、二酸化炭素など温室効果ガスの削減目標「2030年度に2013年度比26%減」を踏まえた事業を推進している。

本市が将来にわたり持続的に発展していくためには、温室効果ガスを削減し、地球環境を維持・改善していく体制の構築が急務である。

省エネ・再エネの促進、ゴミ減量化、環境教育に取り組み、環境に配慮したまちづくりにより「選ばれるまち」を実現すべきである。

- (1) 食品ロス削減の推進
 - 「もったいない残しま10」運動の周知啓発
 - 家庭における食品の適切な管理や有効活用の普及啓発
 - 保育園・学校等における食品ロス削減の食育・環境教育の推進
 - フードバンクや子ども食堂への支援強化

- (2) 再生可能エネルギーの普及促進
 - 公共施設・民間施設へのバイオマス発電設備の導入促進
 - 多様な再生可能エネルギーの普及促進

- (3) 温室効果ガスの削減推進
 - ごみ減量化で焼却CO₂を削減
 - 中心市街地の緑化推進、市民協働による都市緑化活動の促進
 - 分別学習でリサイクル意識の向上

6. 防災・減災対策の一層の強化・推進

今夏、台風ของ暴風雨による浸水被害のため、高齢者グループホームで入所者の尊い人命が失われた。このような惨事が繰り返されないよう、高齢者・障がい者など災害時要配慮者を守る平常時の防災・減災対策の強化が求められている。

また、防災対策、避難所運営などに、女性の視点をさらに活かすことが必要で、市民の生命と暮らしを守るため、ハード・ソフト両面からの防災・減災対策が求められている。

(1) 災害時要配慮者支援の強化

- 高齢者施設などに対する、避難計画の作成、避難訓練の実施などの徹底
- 要配慮者・避難支援者の防災訓練・防災セミナー等への積極的参加
- 浸水想定区域、土砂災害危険個所などの点検の際、要配慮者宅を訪問し、必要に応じ土のうの事前配布

(2) 女性の視点での防災強化

- 宇都宮市防災会議への女性委員の積極的登用
- 内閣府の「男女共同参画の視点からの防災研修プログラム」を活用し、平常時から女性防災リーダーを養成するための講座開催

(3) 建築物耐震化の一層の推進

- 木造住宅の耐震診断・耐震改修・耐震建て替えに対する助成制度の拡充
- 市有施設における非構造部材の耐震化推進

(4) 外水氾濫・内水氾濫防止及び急傾斜地崩壊防止

- 河川・公共下水道雨水幹線の整備促進
- 急傾斜地崩壊防止工事の促進

7. 多様な個性が生かされる教育の実現

教育の目的は、子どもたちの“幸せになる力”を引き出すことにある。教育は知識を糧に無限の創造性、主体性を発揮しうる人間をはぐくむ作業と言える。

近年、家庭の経済事情による教育格差が拡大しつつある。教育の格差を是正し、貧困の連鎖を断ち切るためには、教育の機会均等を図ることが重要なカギとなる。すべての子どもたちが個性や学習状況に応じて質の高い教育が受けられるようにすることが大切である。

- (1) 教員の負担軽減
 - 部活動に外部指導員の活用
 - 教職員体制を整備拡充し「チーム学校」を推進
 - 教員の長時間労働を見直しメンタルヘルス対策の推進

- (2) いじめ・不登校の早期発見ときめ細かい対応の推進

- (3) 学校における人権教育の推進
 - 教職員のインクルーシブ教育推進
 - 心のバリアフリー教育の推進

要望項目

I 市民の安全で健康な笑顔あふれる暮らしを支えるために

1. 保健・医療サービスの質を高める

- 地域での健康づくり推進委員の育成・健康づくり活動の促進
- 健康診査受診率の向上
- うつ、自殺予防対策の強化
- 受動喫煙防止の推進
- 骨髄移植ドナー助成金の創設

2. 高齢期の生活を充実する

- 認知症サポーターの育成など認知症対策の強化
- 介護予防事業の強化
- 消費者被害の対策強化

3. 障がいのある人の生活を充実する

- 障がい者雇用の促進と授産品の積極的な活用の推進
- 公共施設（投票所含む）のバリアフリー、および情報バリアフリーの推進
- 障がい者の居宅・通所サービス提供の充実
- 障がい者日常生活用具事業の見直しと拡充

4. 愛情豊かに子どもたちを育む

- 児童虐待の早期発見と、きめ細かい対応の強化
- ニーズに対応した保育サービス・保育環境の充実

5. 都市の福祉力を高める

- 孤独死の防止対策強化
- ユニバーサルデザインの推進
- 生活保護受給者・生活困窮者の自立支援強化

6. 日常生活の安心感を高める

- AED の設置と講習会等の促進
- 交通安全施設の整備拡充
- 防犯灯の LED 化促進

Ⅱ 市民の学ぶ意欲と豊かなこころを育むために

1. 生涯にわたる学習活動を促進する
 - 社会教育支援の充実（親学の推進等）
 - 奨学金・入学一時金貸付制度の拡充
 - 返還免除型育英修学資金貸付制度の拡充
 - 市立図書館のサービス向上

2. 信頼される学校教育を推進する
 - 発達障がい児への支援強化と特別支援教育の充実
 - 教職員の日常的疑問・困りごと解決のためのガイドブック作成
 - 体罰根絶の実現
 - 交通安全教育の強化
 - 宮っ子ステーション事業の支援強化
 - 学校トイレの洋式化と衛生環境の改善

3. 個性的な市民文化・都市文化を創造する
 - 地域伝統文化継承団体、後継者育成などへの支援拡充
 - 子どもの文化芸術活動への支援
 - 百人一首事業のさらなる振興

4. 健全な青少年を育成する
 - 青少年のボランティア活動への参画促進
 - 危険ドラッグ等薬物乱用防止対策の推進
 - スポーツ等でがんばる子どもたちを顕彰する制度の拡充

Ⅲ 市民の快適な暮らしを支えるために

1. 循環型の環境にやさしい社会を形成する
 - 資源の有効活用推進（レアメタルの回収、新たな資源化事業の導入等）
2. 良好な水と緑の環境を創出する
 - 水辺環境の保全・整備推進
3. 上下水道サービスの質を高める
 - 経営基盤の強化（有収率・収納率の向上、民間委託の積極的導入等）
 - 上下水道施設の耐震化推進
 - 上下水道管老朽化対策の促進
4. 快適な住環境を創出する
 - 空き家・空き地対策の推進と有効活用の促進
 - 市営住宅のバリアフリー化等整備促進

Ⅳ 市民の豊かな暮らしを支え活気と活力のある社会を築くために

1. 農林業の付加価値を高める
 - 農業の担い手育成と農地集積の促進
 - 山林の整備と利活用の促進
2. 魅力ある観光と交流を創出する
 - 地域資源を活用した戦略的観光の推進（市民への観光情報の発信等）
 - 特産物や花と緑など新たな観光資源の創出
 - 外国人観光客誘客のための環境整備促進

V 都市の様々な活動を支える都市基盤の機能と質を高めるために

1. 機能的で魅力のある都市空間を形成する
 - 北海道新幹線（はやぶさ）の宇都宮駅停車の実現
2. 円滑で利便性の高い総合的な交通体系を確立する
 - パークアンドバスライドの整備促進等利便性の向上
 - 自転車専用通行帯の整備促進

VI 持続可能な都市の自治基盤を確立するために

1. 市民が主役のまちづくりを推進する
 - 地域まちづくり協議会への支援強化（交付金の増額等）
2. 行政経営基盤を強化する
 - 公会計制度の着実な推進
 - ふるさと納税の取り組み強化等自主財源の積極的な確保
 - 民間活力の積極的な活用
3. 市民の相互理解と共生のこころを育む
 - 平和教育の推進強化
 - 新有権者への出前講座など政治参加の促進
 - 男女共同参画推進センターに親しまれる愛称設定
 - 成年後見人制度の普及啓発と市民後見人の育成